

メンテナンスをする理由

メンテナンスは人と言うところの健康診断や予防接種になります。

設置場所や空気条件によって劣化の個体差があるため、定期的なメンテナンスを行うことで、適切な消耗部品の交換や内部装置の清掃・状態改善を実施することができます。各装置の延命、性能測定による現在の能力状態のお知らせも行っております。

メンテナンスをしないとどうなるのか

駆動部品の破損による機器の停止や、性能低下による環境への悪影響などが考えられます。また、定期的なメンテナンスを行わないと、装置の異常が出始めた段階での予防が取れず、部品の破損により、修理費用がかかります。さらに、修理が完了するまで装置を停止することになり、その間の機会損失も発生します。

●VOC濃縮装置の場合

除湿機など他の機器と同様に、ローターの目詰まりやエアシールの磨耗、及び破損等による濃縮率の低下が起こります。



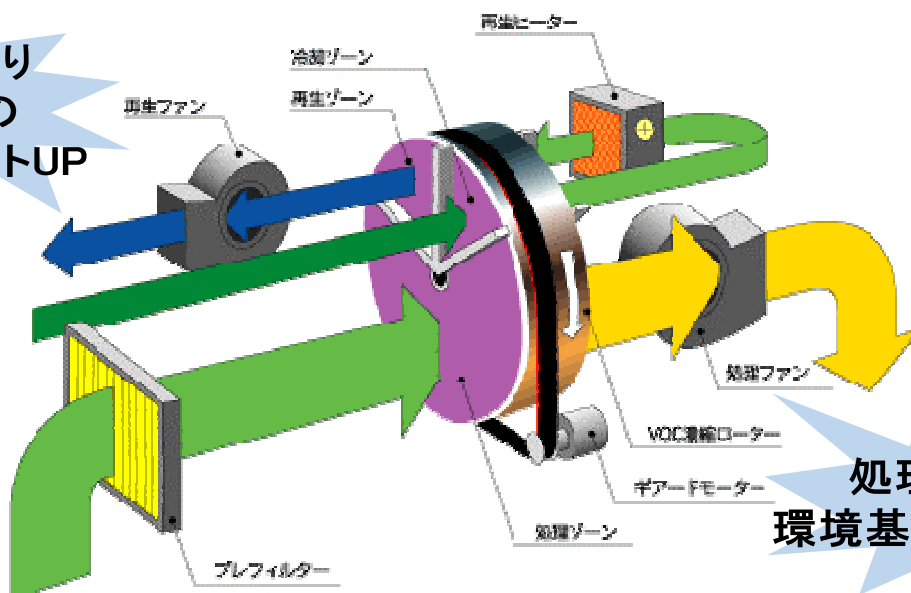
エアシールが破れ、リークにより内部が結露し、腐食の原因になります。濃縮率のダウンにも繋がります。



送風機のベルトが老朽化し、切れてしまってから気づく事もあります。

VOC濃縮装置の濃縮率が下がってしまうと...

低濃度になり
燃焼装置の
ランニングコストUP



処理濃度上昇
環境基準にも影響...

メンテナンスで行うこと

ローター清掃や内部清掃



内部に溜まった埃や塵を清掃し、溜まった粉塵のローターへの付着が見られる場合は、エアブローによる清掃作業も行います。清掃されない濃縮装置は風量の低下、性能低下が著しくなります。

部品交換



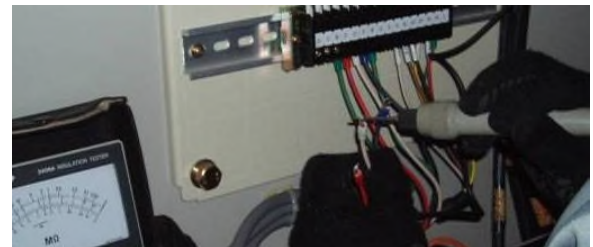
各種消耗部品の交換を行っています。部品には廃盤になった物もあり、現行では寸法違いの部品もあります。そのような部品との取り合わせ検討・交換も行います。

駆動装置の給油



各駆動部にある軸受けの給油を行います。

各機器の状態チェック



ファンやモーターなどの絶縁抵抗値や運転電流値を計測し、以前と比較を行い異常が無いかを確認します。

その他

サンプリング及び劣化調査



ローター素子の一部をくり貫き、調査を行うことで、性能低下の原因や、現在のVOCの吸着状態を通常のデータと比較することができます。サンプリング後は新しい素子を埋め込み、ローターは再使用できます。

ローター交換



ローターの破損や性能低下が見られるときはローター及びカセットの交換も承っております。

上記以外に現地調査、性能測定、消耗部品又は交換部品の提供なども取り扱っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。